※本報告書は、監督員から指示があった場合に提出してください。

木　材　及　び　木　材　加　工　資　材　の　使　用　状　況　報　告　書

工事番号	

様

請負人　住 所

氏 名

下記の工事が完成しましたので、次のとおり木材等の使用状況を報告いたします。

工　事　名

木材及び木材加工資材の使用状況

木材使用工種（用途）	樹 種	木材使用区分及び使用数量																		備　考
		丸太（m3）		円柱（m3）		製材（m3）		集成材（m3）		ＣＬＴ（m3）		型枠用合板(m2)		その他合板(m2)		チップ（m3）		その他(単位:適宜)		
		全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	

記載要領　1 木材及び木材加工資材を使用した工種毎（用途）に、木材区分、使用数量を記入すること。
2 木材使用工種（用途）の欄には、具体的に記入してください。
林道工事 記入例：溝渠工(木製面壁、水叩き、木製蓋等)、柵工、暗渠工、路盤工(路床排水)、標識工等
治山工事 記入例：法枠工、水路工、柵工、筋工、防風柵、なだれ柵工、支柱(風穴防止、添木等）、管理歩道、暗渠工、マルチング材、標識工等
3 樹種には、カラマツ・トドマツ・スギ・その他針葉樹・広葉樹等の該当工種に使用した木材の樹種を記入すること。
4 道産材には、木材使用区分ごとの全体木材使用数量のうち、「北海道内の森林から産出され、道内で加工された木材」の使用数量を記入すること。
5 使用数量は小数点以下を四捨五入して整数で記入すること。
6 製材には、押角、太鼓落、半割等を含む。
7 木材区分・使用数量の「その他」欄には、他の項目に該当しない場合の木材数量を記入する。（備考欄にその内容を必ず記入すること）

(注)　1 この報告書は、工事完成通知書に添えて提出してください。
2 木材等の使用のない場合でもその旨を報告してください

（改　正　後）

※本報告書は、監督員から指示があった場合に提出してください。

木　材　及　び　木　材　加　工　資　材　の　使　用　状　況　報　告　書

工事番号

様

請負人　住 所

氏 名

下記の工事が完成しましたので、次のとおり木材等の使用状況を報告いたします。

工　事　名

木材及び木材加工資材の使用状況

木材使用工種（用途）	樹 種	木材使用区分及び使用数量																		備　考
		丸太（m3）		円柱（m3）		製材（m3）		集成材（m3）		CLT（m3）		型枠用合板(m2)		その他合板(m2)		チップ（m3）		その他(単位:適宜)		
		全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	全体	うち道産材	

記載要領　1 木材及び木材加工資材を使用した工種毎（用途）に、木材区分、使用数量を記入すること。
2 木材使用工種（用途）の欄には、具体的に記入してください。
林道工事 記入例：溝渠工(木製面壁、水叩き、木製蓋等)、橋工、暗渠工、路盤工(路床排水)、標識工等
治山工事 記入例：法枠工、水路工、橋工、筋工、防風柵、なだれ構工、支柱(風穴防止、添木等)、管理歩道、暗渠工、マルチング材、標識工等
3 樹種には、カラマツ・トドマツ・スギ・その他針葉樹・広葉樹等の該当工種に使用した木材の樹種を記入すること。

4 道産材には、木材使用区分ごとの全体木材使用数量のうち、「北海道内の森林から産出され、道内で加工された木材」の使用数量を記入すること。
5 使用数量は小数点以下を四捨五入して整数で記入すること。
6 製材には、押角、太鼓落、半割等を含む。
7 木材区分・使用数量の「その他」欄には、他の項目に該当しない場合の木材数量を記入する。（備考欄にその内容を必ず記入すること）

（削除）

（注）1 この報告書は、工事完成通知書に添えて提出してください。
2 木材等の使用のない場合でもその旨を報告してください

備　考

項目２の削除に合わせて修正

字句修正

項目２の削除に合わせて修正

木材使用状況調査に合わせて記載項目を追加・修正

木材使用状況調査に合わせてトドマツ・スギを追加
道産材の定義を明記
項目を繰り下げ

省力化のため削除（必要な情報があればリース会社等から直接収集する）

木質バイオマスの字句を削除

（現　行）

※本報告書は、監督員から指示があった場合に提出してください。

木材及び木材加工資材等の使用状況報告書

工事番号

様

請負人　住 所

氏 名

下記の工事が完成しましたので、次のとおり木材の使用状況等を報告いたします。

工　事　名

1．木材及び木材加工資材の使用状況

木材使用工種（用途）	樹 種	木材使用区分及び使用数量										備　考
		丸太 (m3)	円柱 (m3)	製材 (m3)	集成材 (m3)	フローリング (m2)	羽目板 (m2)	合板（m2）		チップ (m3)	その他 (単位:適宜)	
								型枠用	その他			

記載要領　1 木材及び木材加工資材等を使用した工種毎（用途）に、木材区分、使用数量を記入すること。
2 木材使用工種（用途）の欄には、具体的に記入してください。
林道工事 記入例：溝渠工(木製面壁、水叩き、木製蓋等)、橋工、暗渠工、路盤工(路床排水)、標識工等
治山工事 記入例：法枠工、水路工、橋工、筋工、防風柵、なだれ構工、支柱(風穴防止、添木等)、管理歩道、暗渠工、マルチング材、標識工等
3 樹種には、カラマツ・その他針葉樹（カラマツ以外）・広葉樹等の該当工種に使用した木材の樹種を記入すること。
4 使用数量は小数点以下を四捨五入して整数で記入すること。
5 製材には、押角、太鼓落、半割等を含む。
6 木材区分・使用数量の「その他」欄には、他の項目に該当しない場合の木材数量を記入する。（備考欄にその内容を必ず記入すること）

2．工事現場等での木質バイオマスの利用状況

木質バイオマスの利用	ペレットストーブ			バイオトイレ			その他（　　）			備　考
	利用数（台）	メーカー名	型番（型式）	利用数（台）	メーカー名	型番（型式）	利用数（台）	メーカー名	型番（型式）	

記載要領　1 道では「公共土木工事における間伐材利用推進指針」により、工事現場等での環境配慮の取組を推進しています。
2 工事現場等（施工現場近くに設置する仮設現場事務所・宿舎及び施工現地一帯を指す）における、木質バイオマスの利用状況を記入すること。
3 木質バイオマスの利用とは、主に木質ペレットストーブ、オガ粉を使用したバイオトイレ等の利用をいう。

（注）1 この報告書は、工事完成通知書に添えて提出してください。
2 木材等の使用のない場合及び木質バイオマスの利用がない場合でもその旨を報告してください

備　考